

# 『社会安全学研究』 表記ルール

2011年2月8日  
2017年6月7日改正  
編集委員会

本紀要における表記・引用ルールを以下のとおりとする。

## 1. 文体, 句読点, ピリオドについて

- 邦語の文体は「である」体を用い, 文化庁「公用文の書き表し方の基準」に準拠する。英数文字は基本的に半角で表記する。
- 邦語・英語, 本文・注ともに「,」「.」を使用する。

## 2. 執筆の形式

### (1) 項目番号の表示について

同一論文内は通し項番とし, 次の順番で項番を付す。

1. 2. 3. …… 1.1 1.2 1.3 …… (1) (2) (3) ……

### (2) 図・表について

図・表は, それぞれ図1, 図2, 又は表1, 表2のように通し番号をつけ, その後に図題又は表題を記載し, 図の場合は下に, 表の場合は上に記載する。

### (3) 注について

同一論文内は通し注とし, 本文中の当該箇所右肩に1), 2)などと番号を付して, 論文末尾に次のようにまとめて記載する。本文割注は採用しない。

注

(1) ……

(2) ……

### (4) 参考文献について

参考文献は文中においては[1], [2]と記載し, 次のような形式でまとめて論文末尾の注の後に記載する。

参考文献

[1] ……

[2] ……

### (5) 文献・URLの引用方法について

#### ①学会誌・専門雑誌論文の場合

- 執筆者名 (刊行年). 論文表題, 雑誌名, 巻, 頁. (頁は, 最初と最後の頁を記載)

例 (和文):

(著者名) (刊行年) (論文表題) (雑誌名) (ページ)  
山口厚(1986). 企業秘密の保護 ジュリスト 852号 pp.48-51.

↑ ↑ ↑ ↑ ↑  
半角( ) ピリオド スペース ピリオド

例（英文）：

(著者名) (刊行年) (論文表題) (雑誌名) (ページ)  
Samuel W. Warren & Louis D. Brandeis (1890). *The Right to Privacy*. 4 Harv. L. Rev. 193, pp. 27-35.

半角( )      ピリオド      論文題名は斜体      ピリオド      カンマ      ピリオド

## ②単行本・単著の場合

- 単著：著者名（出版年）．著書名，出版社名，版表示，頁．
  - 共著：著者名（出版年）．論文表題，編著者名，全員の著者名，書名，出版社，頁．
- ※共著の場合は，原則として「全員の著者名」を記載するが，共著者が多い場合は，「…著者名…その他〇名」と記載しても良い．

例（和文）：

(著者名) (出版年) (著書題名) (出版社) (ページ)  
堀部政男(1980)．現代のプライバシー 岩波書店 pp.55-56.

半角( )      ピリオド           スペース           ピリオド

例（英文）：

(著者名) (出版年) (著書題名) (出版社) (ページ)  
Gibson, E. J. (1969). *Principles of perceptual learning and development*. Appleton-Century-Crofts, pp.198-202.

半角( )      ピリオド      著書題名は斜体      ピリオド      カンマ      ピリオド

## ③ URL の引用

例（和文）：(HP 作成者．HP 名) <http://www.daiichihoki.co.jp/index.htm> (2010年4月1日確認)

例（英文）：(HP 作成者．HP 名) <http://www.daiichihoki.co.jp/index.htm> (last visited Apr. 1, 2010)

## 3. 略語について

略語については，各学問分野の公式なルールに基づき表記し，必要に応じ説明を加える．

例：ECCS (emergency core cooling system)，LOCA (冷却材喪失事故)

## 4. その他

本書に記載のないルールで，新たに『社会安全学研究』の執筆ルールとすべきものは，編集委員会において議論し，本書に付加する．